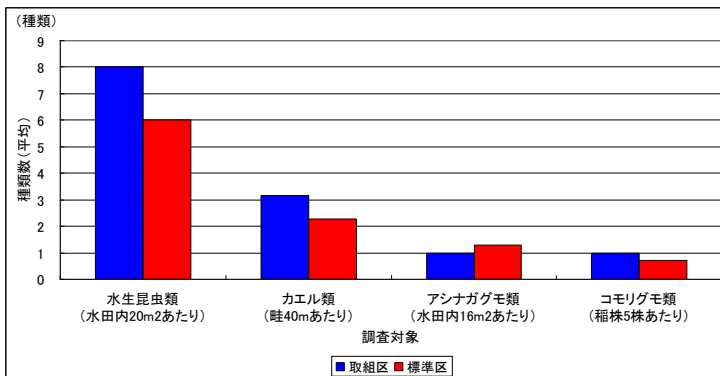


# 魚毒性Aの除草剤と畦畔機械除草3回以上

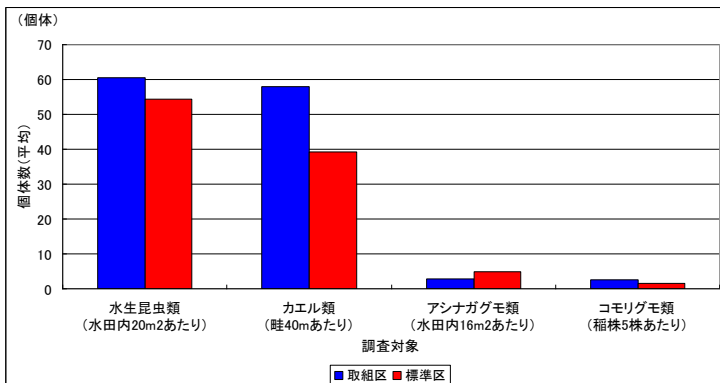
## 取組区と標準区の比較

	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m <sup>2</sup> あたり)	8.00	6.00	60.57	54.29	2.00	1.47
カエル類(畦40mあたり)	3.14	2.29	57.86	39.14	1.11	0.78
アシナガグモ類(水田内16m <sup>2</sup> あたり)	1.00	1.29	2.71	5.00	0.13	0.25
コモリグモ類(稲株5株あたり)	1.00	0.71	2.57	1.57	0.29	0.13

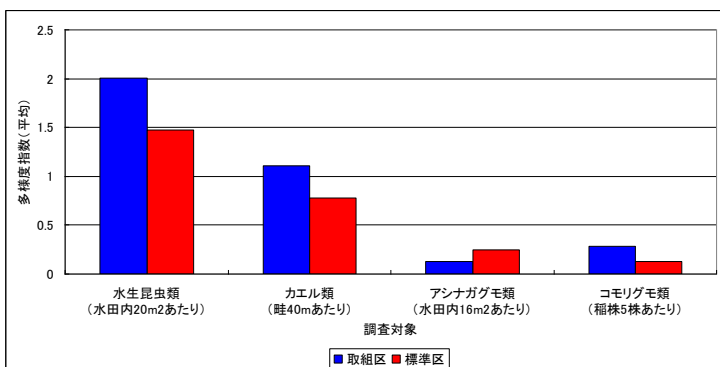
※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れていることを意味する。



種類数



個体数



多様度指数



取組区の水田



採集されたアキアカネ(下)とヒメゲンゴロウ(上)

魚毒性Aの除草剤と畦畔機械除草3回以上の取組区分において、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類やカエル類等の種類数及び個体数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。